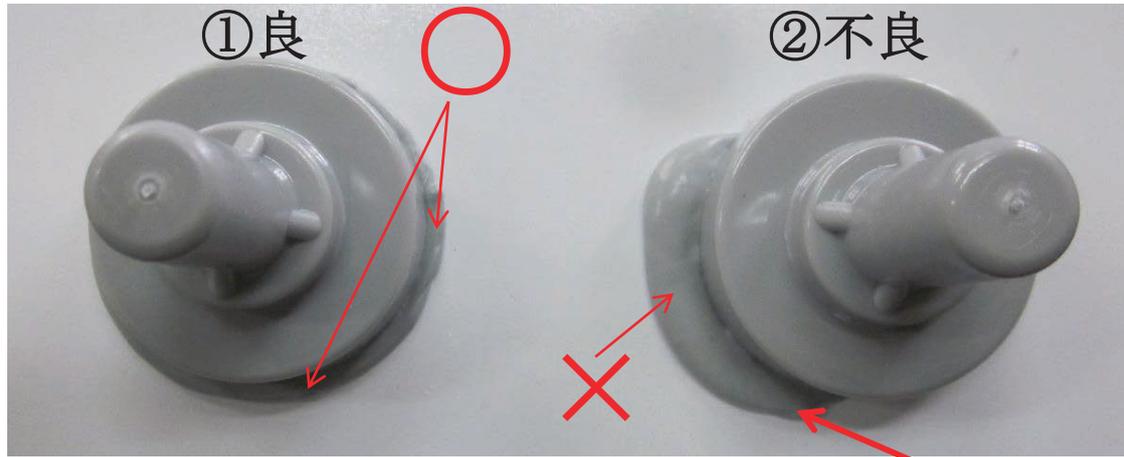


【取り付け図】



回しながら取り付けると①の様にキャップの円周に沿ってシールします。

回し方が不十分な場合や真っ直ぐ差し込んだ場合は②の様に充填材が一定方向から飛び出し外観や性能面で本来の役目を果たせません。また、飛び出した充填材が分厚くなる為、乾燥時間が大幅に長くなり降雨や結露水等で流されるリスクも高まります。

※ボルトが短いものや、痩せて細くなり過ぎているものは、充填材がキャップの外部へ出てこない場合があります。キャップ内部に充填材が充満していれば問題有りませんが、そうでない場合は本来の性能を発揮できませんのでご注意ください。

【表面乾燥時間の目安】

夏季・・・6時間以上

冬季・・・12時間以上(但し、気温が4℃以下の時間はカウントしない)

※日中（日当たりの良い時間帯）を含んだ場合の目安となります。

※エマルジョンの乾燥時間は気温・湿度によって大きく異なりますので目安としてお考え下さい。

【サイズの選定について】

- ・必ずノギスで測定し、適切なサイズをご使用下さい。(寸法表をご参照下さい)
 - ・ボルトが無くなっているものや極端に短いものには使用できません。取り付け後、脱落します。
 - ・使用可能なボルトの長さの目安として、ナットの上からボルトの長さが20mm以上(屋根面からボルトの先端までの長さ(高さ)にすると32mm以上)を推奨しております。
- ※ボルトの痩せ方や、屋根勾配(屋根の傾斜)等、現場によって条件は様々です。サイズ合わせ用のサンプルは無償でご提供させて頂いておりますので実際にご使用頂きご判断下さい。

【充填材が水等で流れた場合】

- ・キャップ内部の充填材が流れ出した場合、その度合いによって本来の性能を発揮できません。
- ・キャップ外部の充填材が流れた場合は、性能上ほぼ問題有りません。屋根に残った白い筋が問題となる場合は水を含ませたウエスやモップ等で拭きとって下さい。

保護具

- 手(指)の保護：キャップを回しながら差し込む為、必要に応じて滑り止め付の手袋等を装着して下さい。

保管

- 直射日光は避け、風通しの良い冷暗所で保管してください。
- 夏期の車内等で高温になると離型紙がハガレ難くなることがあります。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 端数が出た場合等、開封後に未使用のものを保管する場合はビニール袋に入れ密封し、箱に入れガムテープ等で封をして下さい。
- 低温で保管後すぐに使用した場合、充填材が冷えて固まっている為ボルトに差し込み難くなります。

応急処置

- 充填剤が目に入った場合は、多量の水で洗い早急に医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合は、早急に医師の診断を受けて下さい。

廃棄

- 法令に従って廃棄して下さい。

テンキャップ 取扱い説明書

必ずよく読んでからご使用ください。

用途： 補修・改修工専用

成分

キャップ	ポリエチレン
充填材	アクリルエマルジョンコーキング(灰色)
フィルム	特殊アスファルトゴムフィルム(黒色)

施工手順

- ケレン
ウキ錆をワイヤーブラシ等で取り除く。ナットがゆるんでいたら締め直す。
水分・油分・ゴミ等を完全に除去する。
※ボルトの劣化状況に応じて必要であれば錆び止め塗料等で塗装する。
- 取り付け
離型紙を外しテンキャップを回しながら差し込む。離型紙はゴミ袋に捨てる。

塗装について

【屋根を塗装後にテンキャップを取り付ける場合】

- ・塗料が完全に乾燥してから取り付けて下さい。

【テンキャップ取り付け後に屋根を塗装する場合】

- ・キャップの材質はポリエチレンです。塗料は密着しません。
- ・充填材はエマルジョン（水性）です。乾燥してから塗装して下さい。

使用上のご注意

キャップの取り付け方

- 必ず左図のように回しながら押し込んでください。
- 絶対に木づち等で叩かないで下さい。
- スレート用の大波・小波は、スレートの山部にあたり最後まで回せませんが、充填材がはみ出さないよう出来るだけ回しながら押し込んでください。
- 上から下に向かってまっすぐ押し込むと中の充填材がキャップの中に充填する前に外へはみ出し外観及び性能面で本来の役目を果たす事が出来ない場合があります。
(※裏面の取り付け図をご参照下さい。)
- ナットの上からボルトの長さが 10～15 mm 以下の場合、装着後に脱落する場合があります。
- 充填材は水性エマルジョンです。乾燥しきっていない状態で水に触れると溶解し流れ出す恐れがあります。降雨・結露・降雪が予想される場合は施工を見合わせて下さい。充填材が流れ出し屋根面に白いスジが残る事があります。
- 気温 4℃ 以下では充填材は非常に乾燥しにくくなります。この場合も施工を見合わせて下さい。
- 日没付近、日没後に施工しないで下さい。(乾燥の遅れ、結露水発生のおそれ等施工不良の原因となります)

※ボルトのサイズと屋根の種類をご確認の上、適切なサイズのキャップをご使用下さい。誤ったサイズを使用した場合、本来の性能を発揮出来ません。

【その他の注意事項等】

- ・曇りの日は湿度が高い為、乾燥時間が長くなりますのでご注意下さい。
- ・日当たりの良い時間帯に乾燥させて下さい。(午前中に施工を終了し、日中乾燥させるのが好ましい)
- ・結露は特に秋の日没後に発生しやすく、降雨と同等の水が発生する場合がありますのでご注意下さい。
- ・キャップ内の充填材は屋根面から徐々に乾燥します。先端まで完全に乾燥するには 3～6 ヶ月程かかります。取り付け後はみだりに抜き差ししないで下さい。
- ・冬期の積雪量が多い地域では使用しないで下さい。